

# I. 電気設備工事特記仕様書

1) 本仕様書のうち選択する事項は○印のついたものを適用し△印のない場合は※印を適用する。  
2) 特記一印又は×印で抹消した項目は適用しない。

## A. 工事概要

1. 工事名称	令和7年度等平町中間管理住宅改修工事		
2. 工事場所			
3. 建物概要	住宅		
棟名称	構造	階数	延べ面積 (m <sup>2</sup> )
A 中間管理住宅	○木造・S・R・C・SRC	地下階、地上1階、塔屋階	
B	○木造・S・R・C・SRC	地下階、地上階、塔屋階	
C	○木造・S・R・C・SRC	地下階、地上階、塔屋階	

4. 工事種目及び範囲	消防法上の用途 第 項 ( )		
-------------	-----------------	--	--

工事種目	棟名称			工事範囲	備考
	A棟	B棟	C棟		
電力設備	○電灯・コンセント設備	○	○	○	○
○動力設備	○	○	○	○	○
○幹線設備	○	○	○	○	○
○受変電設備	○	○	○	○	○
○太陽光発電設備	○	○	○	○	○
通信設備	○電話設備	○	○	○	○
○インターフォン設備	○	○	○	○	○
○拡声(放送)設備	○	○	○	○	○
○テレビ共聴設備	○	○	○	○	○
○トイレ呼出設備	○	○	○	○	○
○警報設備	○	○	○	○	○
防火電気設備	○火災報知設備	○	○	○	○
○自動閉鎖設備	○	○	○	○	○
○誘導灯設備	○	○	○	○	○

屋外工事	○電力線路工事 (○低圧幹線	・高圧	・制御	・動力
○通信線路工事 (○電話	・拡声	○インターフォン	○テレビ共聴	
○防災線路工事 (○火災報知	・自動閉鎖	○器具付け		
・外灯設備 (○配管	・配線	・柱上式	・屋外キュービクル式	
・変電設備 (○既設	・新設			

## B. 工事仕様

1. 一般事項	本工事の請負者は、電気設備技術基準、内線規程、建築基準法、消防法等関係諸規則及び設計図書により、施工しなければならない。
(2) 共通仕様書	図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修の公共建築設備工事共通仕様書(電気設備工事編)(以下共通仕様書という)及び公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(以下標準図という)による。
(3) 工事用機材	本工事に使用する機材は、指定製造業者の製品又は同等品以上を使用するものとし、之等の機材は、JIS、JEC、JEM、JCS等の規格のあるものは、その規格品とする。但し同等以上とする場合は総括監理者の承諾を受けること。設計図書が互いに相違する場合、明記のない場合、及び疑義を生じた場合はその都度速やかに監理者と協議の上、施工しなければならない。尚、その場合当然必要と認められる事項及び軽微なものについては、監理者の指示に従うものとする。
(4) 手続及び工事用電力水等	本工事に必要な手続は、監理者と密接な連絡を保持して、これにあること。これに要する費用及び本工事に必要な工事用電力・水等の費用は請負者の負担とする。
(5) 工事写真	工事写真は、施工に伴い、その状況及び工程を明確に記録するために主要箇所ならびに監理者の指示した場所の写真(工事種別、各工事場所等明記した黒板を立て箱尺等により、寸法の判別が出来ること)を提出すること。写真の大きさは及び提出枚数は、監理者の指示による。
(6) 提出図書	本工事完成時下記の図書は、監理者の指示する部数を提出すること。 イ. 維持管理に必要な操作説明書 ロ. 各種機器取扱説明書 ハ. 各種機器、試験成績表 ニ. 接地抵抗測定表 ホ. 各回路の絶縁抵抗試験成績表 ヘ. 全設備完成図及び施工図 ト. 打合度度の承認された打合せ記録 チ. 工事写真及び完成写真 その他(監理者の指示による)
(7) 発生材の処理	・引渡しを要するもの ・有 ・無
(8) 既存の電気設備	本工事に関連する既存の電気設備の絶縁抵抗を測定し、関連する工事の着手前に監理者に提出する。
(9) 既存部分の補修	工事の施工に伴い既存部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならぬ補修をする。
(10) 再使用機器	取外し再使用機器は清掃及び絶縁抵抗測定の上で取付のこと。
(11) 塗装業者	日本塗装工業会会員又は、監理者の承諾する業者とする。
(12) 耐震対策計算書	機器、配管などの耐震対策のための必要な計算書を監理者に提出する。尚、計算方法は原則として、修正震動法による。

## 2. 施工方法

(1) 接地工事の標準	接地抵抗の標準仕様は下記によるが、これにより難しい場合は、補助棒等が必要な接地抵抗値以下にしなければならない。					
接地の種類	記号	接地抵抗値	埋設標	埋設標取付方法		
共同接地	E <sub>A</sub> E <sub>B</sub>	10Ω	EP×1	※要 ※要 ※要	※要 ※要 ※要	杭式 杭式 杭式
第1種	E <sub>A</sub>	10Ω	EP×1	※要	※要	※要
第2種	E <sub>B</sub>	150/10Ω	EB×2	※要	※要	※要
第3種	E <sub>C</sub>	100Ω	EB×1	※要	※要	※要
特別第3種	E <sub>C</sub>	10Ω	EP×1	※要	※要	※要
避雷用	E <sub>0</sub>	10Ω	EP×1	※要	※要	※要
外灯用	E <sub>0</sub>	100Ω	EB×1	※要	※要	※要
通信用	E <sub>0</sub>	10Ω	EP×1	※要	※要	※要
通信用	E <sub>0</sub> E <sub>0</sub>	100Ω	EB×1	※要	※要	※要
測定用	E <sub>0</sub>	-	EB×1	※要	※要	※要
埋設標表示仕様	E <sub>B</sub> : 接地棒 (10φ×1500mm) 埋設式 E <sub>P</sub> : 接地用銅板 (1.5t×900×900) ※黄銅板製 ・アクリル板製 取付位置は監理者の指示による。					

## (2) 主たる記録の工事方法

種別	電線管工事										ケーブル工事			その他		
	ねじなし	厚鋼管	PEG	FP	FRVE	FR-S	ねじし	S止め	ラック	C埋設	Fタテ	M.M	その他	その他	その他	その他
電力設備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
電話設備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
インターネット設備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
拡声(放送)設備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
テレビ共聴設備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
機械警備設備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
警報設備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
火災報知設備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
自動閉鎖設備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
避雷設備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
屋外・屋上等の屋外露出配管	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
屋内⇔HH間等の地中配管	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

種別	直埋ケーブル		トラフ		直埋埋設保護管		管路引入式管路		共同溝等		架空		備考	
	埋設	埋設	埋設	埋設	埋設	埋設	埋設	埋設	埋設	埋設	埋設	埋設	埋設	埋設
高圧・低圧・動力・制御	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
外灯	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
電話	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他 ( )	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
火災報知	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他 ( )	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

4. 共通事項、その他	(1) 屋内外工事														
1) 鋼製電線管工事	ねじなし電線管工事とする場合であっても、許容電線収容数を満足する、薄鋼及び厚鋼電線管工事とすることが出来る。														
2) 地中部分	屋内及び屋外ハンドホール間等の金属電線管が地中埋設となる時は、防蝕テープ巻又はアスファルトジュート巻とする。														
3) 分電盤の予備配管	分電盤の分岐用予備回路及び予備スペースの合計が4回路以下の場合は(5)相当を1本、5回路以上の場合は(5)相当を2本の予備配管をし、天井内でプラグ止めすること。ただし、スラブ天井の場合は、天井下200mm程度まで立て、アウトレットボックスに化粧プレート取付け費用とする。														
4) 呼び線	○不要 ※空配管(予備管等)には1.2mm以上のビニール被覆鉄線を挿入する。														
5) 電線本数、管路等	制御回路、通信設備の配線で、配線経路、電線サイズ、電線本数、管路サイズなどは監理者と協議の上、図面表示と多少相違、増加させてよい。														
6) フラッシュプレート	○不要 ※カラープレート(カラー) ・高線カラープレート ※アルミ合金(新金属) ・ステンレス ・銅色プレート ・オリジナル														
7) ノズル・カバープレート	電灯(○) 動力(○) 電話(○) 電気時計(○) 拡声(○) 表示(○) インターホン(○) テレビ共聴(○) 火災報知(○) 防犯(○) 印等のシール等を表示する。														
8) フロアプレート	水平高低調節プレート(空錠防止リング付)とする。														
9) 配線器具	2P15A平方型プラグを使用する以外のコンセントはプラグ付とする。一般回路の配線器具は白色又はクリーム色とする。発電機等の保安用回路の配線器具の色は、一般回路のものとは別プレートにその旨を赤字等で刻印すること。														
10) 分電盤	特記なき分電盤は埋込型とし、キャビネットは折曲げ式とする。														
11) 端子盤	特記なき端子盤は埋込型 端子(1号A)付とし、キャビネットは折曲げ式とする。														
12) 総合壁(火報)	消火栓箱内ものは、消火栓箱に組込む。(端子は本工事に含む。)														
13) 防災感知器	感知器は、発報表示灯とする。														

記号	蛍光灯		蛍光灯		蛍光灯		HIDランプ		HIDランプ	
	F	FB	FJ	FC	FJ	FC	FJ	FC	FJ	FC
直管形	F A	F B	F J	F C	F J	F C	F J	F C	F J	F C
ボール形	F J	F C	F J	F C	F J	F C	F J	F C	F J	F C
U形	F J	F C	F J	F C	F J	F C	F J	F C	F J	F C
レフレクター形	F R	F L	F R	F L	F R	F L	F R	F L	F R	F L

記号	点滅器(スイッチ)		調光器		パイロットランプ(P.L)		その他	
	○	○	○	○	○	○	○	○
取付位置	○	○	○	○	○	○	○	○
種数	○	○	○	○	○	○	○	○
容量	○	○	○	○	○	○	○	○
特殊	○	○	○	○	○	○	○	○

1) 避雷設備	○突針(・JIS大型 ・旗竿型 球球型 φ ) ・棟上導体(・銅帯 3t×25 ・鬼燃線 2.0/PS ) ・金属製手すり(別建築工事)等を利用	
2) 突針部マスト	○自立一式 ・壁付ブラケット式	
3) 避雷導線	・建築構造体利用 ・引下げ導線	
4) 接地極	・建築構造体利用 ・銅板埋設	
(3) 外線工事	1) 地中電線路の埋設深さ 車輛その他の重荷物の圧力を受ける恐れがある場所に於いては1200mm以上とし、その他の場合は600mm以上とする。埋設する箇所はそれにによる。	
2) ケーブル等の埋設深さ	ケーブル等の埋設表示はコンクリート杭に方向別を記入したタイル(舗装部分は鉄線)を貼ったものとする。	
3) 埋設表示シート	下記の地中電線路にはその上部に2m以下の間隔で、物の名称、管理番号、電圧、埋設年等を表示した埋設表示シート(3倍以上の折込又は伸率)を布設すること。	

地中電線路種別	埋設表示	備考	地中電線路種別	埋設表示	備考
15mを超える高圧電路	要	要	通信線路	※要	不要
15m以下の高圧電路	※要	不要	防犯線路	要	不要
低圧配電線路	要	不要	外灯用配電線路	要	不要

4) ハンドホール	・既製品(ブロックハンドホール) ・現場打(現場打であっても同等な大きさの既製品として良い) 蓋は鋼製とし「電力」「通信」等の文字入しと開閉用ハンドル付とする。 蓋の安全荷重は下記による。 重荷重(SW)=破壊荷重/4=5t以上 中荷重(SW)=破壊荷重/4=1.5t以上 軽荷重(SW)=破壊荷重/4=0.5t以上 ハンドホールには、ケーブル受金物、ステップ、フックボルト等の必要な地中埋設金物を付属するものとし、地上のコンクリート部分にケーブル等の埋設方向表示用タイルを貼り付けたこと。又管路口等の貫通部は、エポキシ系ボンド等で防水処理を行う。	
5) 土工事	埋戻し土 ※根切土 ・購入土 残土処分 ※構内の指示場所に散らし ・構外搬出処分 現場打のコンクリートはFc=180kg/cm <sup>2</sup> スランプ18cmの標準コンクリートと同等級以上とする。	
6) コンクリート工事	現場打のコンクリートはFc=180kg/cm <sup>2</sup> スランプ18cmの標準コンクリートと同等級以上とする。	
7) ケーブルの余長	ハンドホール内でケーブルの余長(・1回巻以上 ※任意)を取ることを。	
(4) その他	1) 図示記号、材質記号、材料記号は標準図並びに電線品分類記号(JCS)によるものとし、下記の材料記号を追加する。	

管	CP	薄鋼電線管	CPG	厚鋼電線管
類	CPE	ねじなし電線管	PFDF	合成樹脂製等電線管(一重管)
類	KC	構内用ケーブル	CC-CX	テレビカメラ用ケーブル(○心複合型)
線	CC-TVS	ビデオ用親子ケーブル(1対複合型)	CB-(V)	コンクリート直埋ケーブル(VV)
類	3PCC-TVS	ビデオ用親子ケーブル(3対複合型)		

## II. 図示記号表(凡例)

備考  
1) 本記号は、JIS-C0303『屋内配線用図記号』(以下JIS記号と言う)の基準から選定するものではなく、JIS記号及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の電気設備工事標準図内『図記号』の両記号(以下標準記号と言う)を標準とするもので、本記号以外は、標準記号(標準図2位・JIS記号3位の順で優先)による。  
2) 本表のうち選択する事項は○印のついたものを○印のない場合は※を適用する。

## A. 照明器具

蛍光灯器具		白熱灯器具	
記号	摘要	記号	摘要
① 基本記号	天井付蛍光灯 注1 位置ボックスを現す場合は○とする。 注2 ランプ数の区別をする場合は 1灯用 2灯用 3灯用 多灯用とする。	① 基本記号	天井付白熱灯 壁付白熱灯
② 電源回路の別を現す記号	保安(発電機等)回路の天井付蛍光灯 保安(発電機等)回路の壁付蛍光灯 天井付非常用照明器具 壁付非常用照明器具	② 電源回路の別を現す記号	保安(発電機等)回路の天井付白熱灯 保安(発電機等)回路の壁付白熱灯 天井付非常用照明器具 壁付非常用照明器具
③ 形状及び種別を現す記号	シーリングライト ブラケット(100W以下のHID器具も同じシンボルとする) コードペンダント パイペンダント チェーンペンダント シャンデリア スポットライト ダウンライト	③ 形状及び種別を現す記号	シーリングライト ブラケット(100W以下のHID器具も同じシンボルとする) コードペンダント パイペンダント チェーンペンダント シャンデリア スポットライト ダウンライト

HID器具		誘導灯	
記号	摘要	記号	摘要
① 基本記号	天井付HID器具 壁付HID器具 注1 ランプ種別を現す場合は ○水銀灯 ○メタルハライド ○ナトリウム灯 保安(発電機等)回路の天井付HID器具 保安(発電機等)回路の壁付HID器具	① 基本記号	避難口誘導灯 室内通路誘導灯 廊下通路誘導灯
② 種別を現す記号	選別口 小型 a: 片面 b: 両面 選別口 中型 A: 片面 B: 両面 選別口 大型 A: 片面 B: 両面	② 種別を現す記号	選別口 小型 a: 片面 b: 両面 選別口 中型 A: 片面 B: 両面 選別口 大型 A: 片面 B: 両面
③ 形状及び種別を現す記号	角形及び長角形 丸形 ○はサークルイン器具 コード吊 パイ吊	③ 形状及び種別を現す記号	角形及び長角形 丸形 ○はサークルイン器具 コード吊 パイ吊

記号	蛍光灯	蛍光灯	蛍光灯	HIDランプ	HIDランプ
F	直管形	F A	高演色形	I	一般形フロラジ
FB	ボール形	F J	長寿命形	J	ハログラム電球
FC	U形(サウライン)	G	殺菌灯	K	一般形水銀ランプ
FU	U形	H	ボール型	L	高圧ナトリウムランプ(高圧ナトリウム)
FR	レフレクター形	I	一般形電球	M	メタルハライドランプ(メタルハライド)
		J	ボール型	N	ナトリウムランプ(ナトリウム)
		K	一般形電球	NH	高圧ナトリウムランプ(高圧ナトリウム)
		L	高圧ナトリウムランプ		
		M	メタルハライドランプ		
		N	ナトリウムランプ		
		NH	高圧ナトリウムランプ		

## B. 配線器具

記号	点滅器(スイッチ)		調光器		パイロットランプ(P.L)		その他	
	○	○	○	○	○	○	○	○
取付位置	○	○	○	○	○	○	○	○
種数	○	○	○	○	○	○	○	○
容量	○	○	○	○	○	○	○	○
特殊	○	○	○	○	○	○	○	○

① 基本記号	○点滅器(スイッチ)	○調光器	○パイロットランプ(P.L)	○その他
取付位置	○	○	○	○
種数	○	○	○	○
容量	○	○	○	○
特殊	○	○	○	○

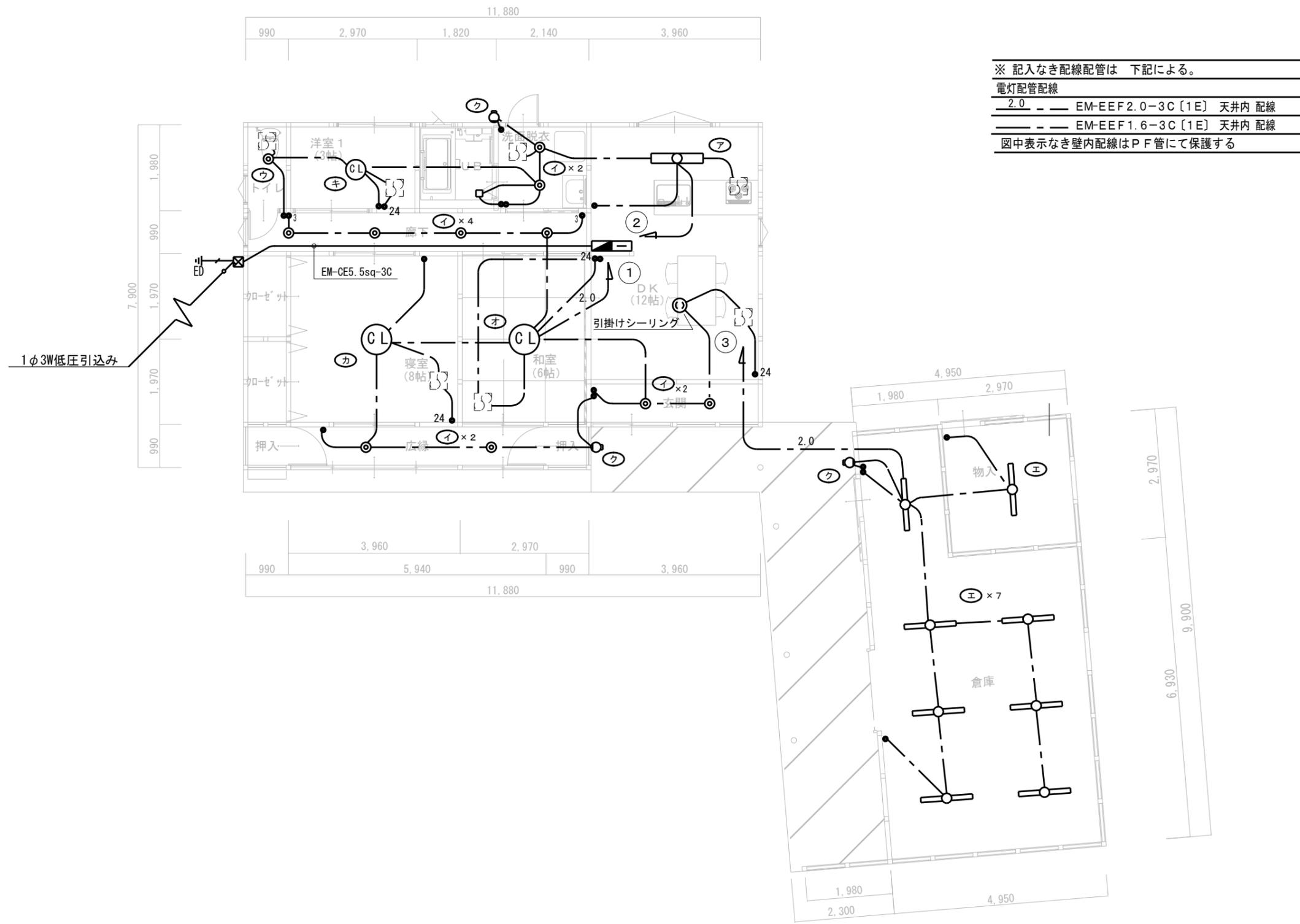
② 傍記記号 (1) スイッチ等	○1 15V 傍記なし ○2 20A 傍記20A、又は ○3 30A 傍記30A	○1 直線列形コンセント ○2 3P又はEHP2P、メタルコンセント ○3 4P又はEHP3P、メタルコンセント	
記号	適 用	適 用	適 用
○1	○E 防煙型	○1 壁取付3ノッチ(自動切・連続)金属製防滴プレート付	○1 壁取付3ノッチ(自動切・連続)金属製防滴プレート付
○2	○P プルススイッチ	○2 熱線センサーSw機構8A(WKT24819)同等品	○2 熱線センサーSw機構8A(WKT24819)同等品
○3	○B 押切スイッチ	○3 フォースイッチ(10A以上のミットスイッチ)	○3 フォースイッチ(10A以上のミットスイッチ)
○4	○K 運用キースイッチ(3路)	○4 露出型スイッチ	○4 露出型スイッチ
○5	○R 運用キースイッチ(3路)	○5 2P又はEHP2P、メタルコンセント	○5 2P又はEHP2P、メタルコンセント
○6	○N 防煙型	○6 防煙型	○6 防煙型
○7	○A 防煙型	○7 防煙型	○7 防煙型
○8	○R 防煙型	○8 防煙型	○8 防煙型
○9	○R 防煙型	○9 防煙型	○9 防煙型
○10	○R 防煙型	○10 防煙型	○10 防煙型
○11	○R 防煙型	○11 防煙型	○11 防煙型
○12	○R 防煙型	○12 防煙型	○12 防煙型
○13	○R 防煙型	○13 防煙型	○13 防煙型
○14	○R 防煙型	○14 防煙型	○14 防煙型
○15	○R 防煙型	○15 防煙型	○15 防煙型
○16	○R 防煙型	○16 防煙型	○16 防煙型
○17	○R 防煙型	○17 防煙型	○17 防煙型
○18	○R 防煙型	○18 防煙型	○18 防煙型
○19	○R 防煙型	○19 防煙型	○19 防煙型
○20	○R 防煙型	○20 防煙型	○20 防

新設器具凡例

記号	名称	仕様
	分電盤	ホーム分電盤
	タンブラスイッチ	埋込 1P15A×1 新金属プレート
	ワイドコンセント	埋込 2P15A×2 プレート付
	ワイドコンセント	埋込 ET 2P15A×1 プレート付
	防水コンセント	露出 ET.2P15A×2
	端子盤	10p
	直列ユニット	
	電話用ユニット	
	24h換気用スイッチ	機械設備工事支給品
	ダクト用換気扇	(換気設備図参照)
	レンジフード	(建築工事付属品)
	天井換気扇	(建築工事シャワーユニット付属品)
	プルボックス	SUS-WP 200×200×100
	UHF平面アンテナ	20素子相当 ブースター内蔵 (25dB 以上)
	テレビ端子	壁付 直列ユニット 末端型 SH-7FS
	3分配器	端子盤 取付 SH-D4
	特定小規模施設用 自動火災報知器	天井埋込型 親機 リチウム電池 自動点検機能付 煙式 ワイヤレス連動型
	特定小規模施設用 自動火災報知器	天井埋込型 子機 リチウム電池 自動点検機能付 煙式 ワイヤレス連動型
	特定小規模施設用 自動火災報知器	天井埋込型 子機 リチウム電池 自動点検機能付 熱定温式 ワイヤレス連動型
	インターホン親機	壁掛 カラーモニター付 参考品番: JP-4MED
	ドアホン子機	カラーカメラ付 参考品番: JP-DA
	接地工事	ED 14φ×1500L EC 14φ×1500L×3 接地埋設標 (黄銅板) 接地抵抗測定共

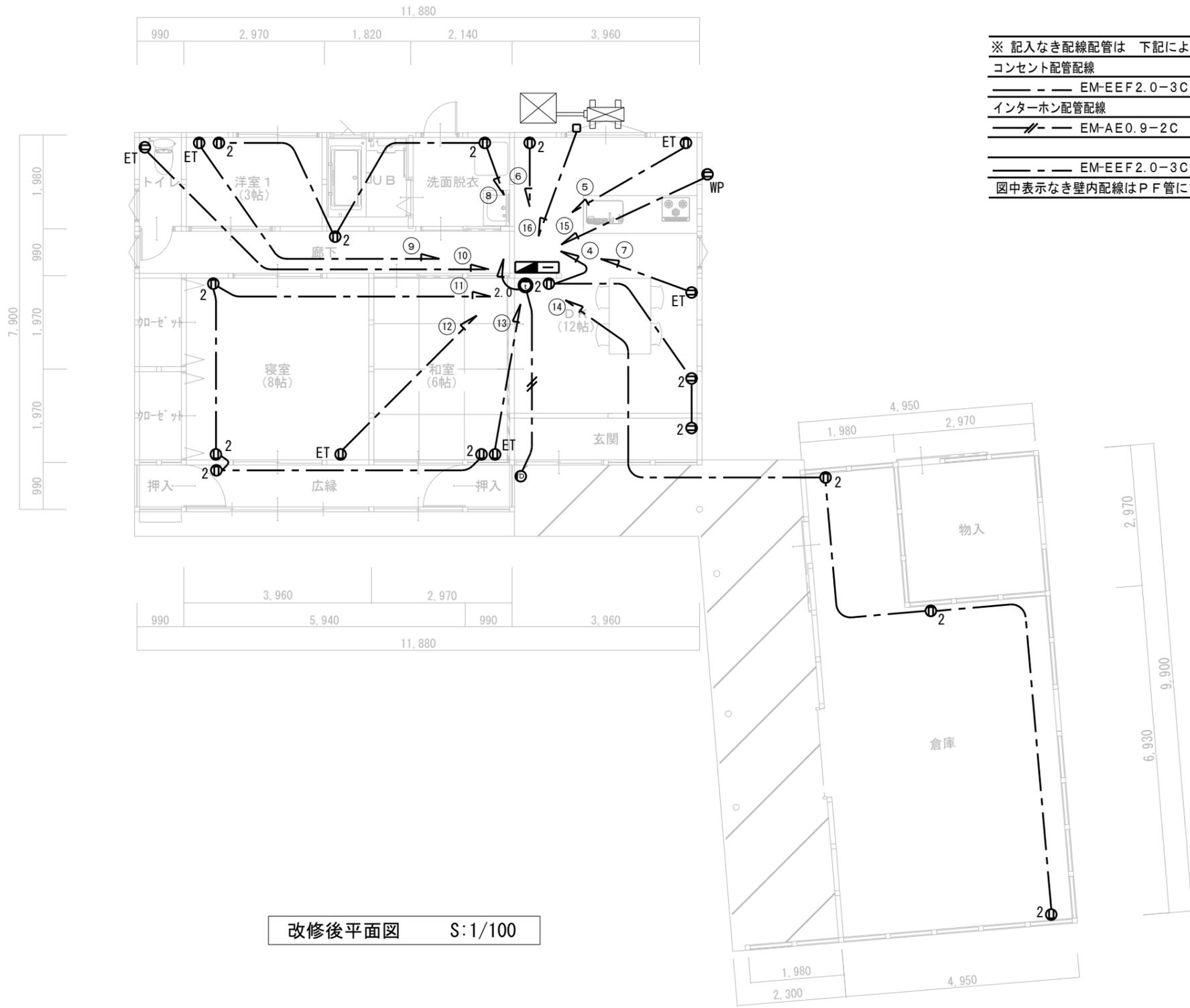
記号	名称	仕様	消費電力	記号	名称	仕様	消費電力	記号	名称	仕様	消費電力
	LED直付灯	LSS9-4-23 LN 9	16.3W		LEDダウンライト	LRS1-05 LN 10	4.6W		LEDダウンライト	LRS1-13 LN 1	12.6W
	LED直付灯	LSS1-4-23 LE 9	16.3W		LEDシーリングライト	昼光色 5,400lm 1	47.8W		LEDシーリングライト	昼光色 6,000lm 1	56.0W
	LEDシーリングライト	昼光色 1,760lm 1	15.0W		LEDポーチライト	60形電球1灯相当 防雨形 3	16.3W				

記  
事



改修後平面図 S:1/100

記 事	工事名	令和7年度琴平町中間管理住宅改修工事	図番	03/E	日付	
	図面名	電灯設備平面図	縮尺	S=1/100	製図	
	設計者	SAIGA ARCHITECTURAL DESIGN	初案登録第	229号	検	
	施工者	有限会社 齋賀建築設計事務所	管理建築士1級第	271186号	検	
				三野 和司	図	



※ 記入なき配線配管は 下記による。

コンセント配管配線  
 EM-EEF2.0-3C [1E] 天井内 配線

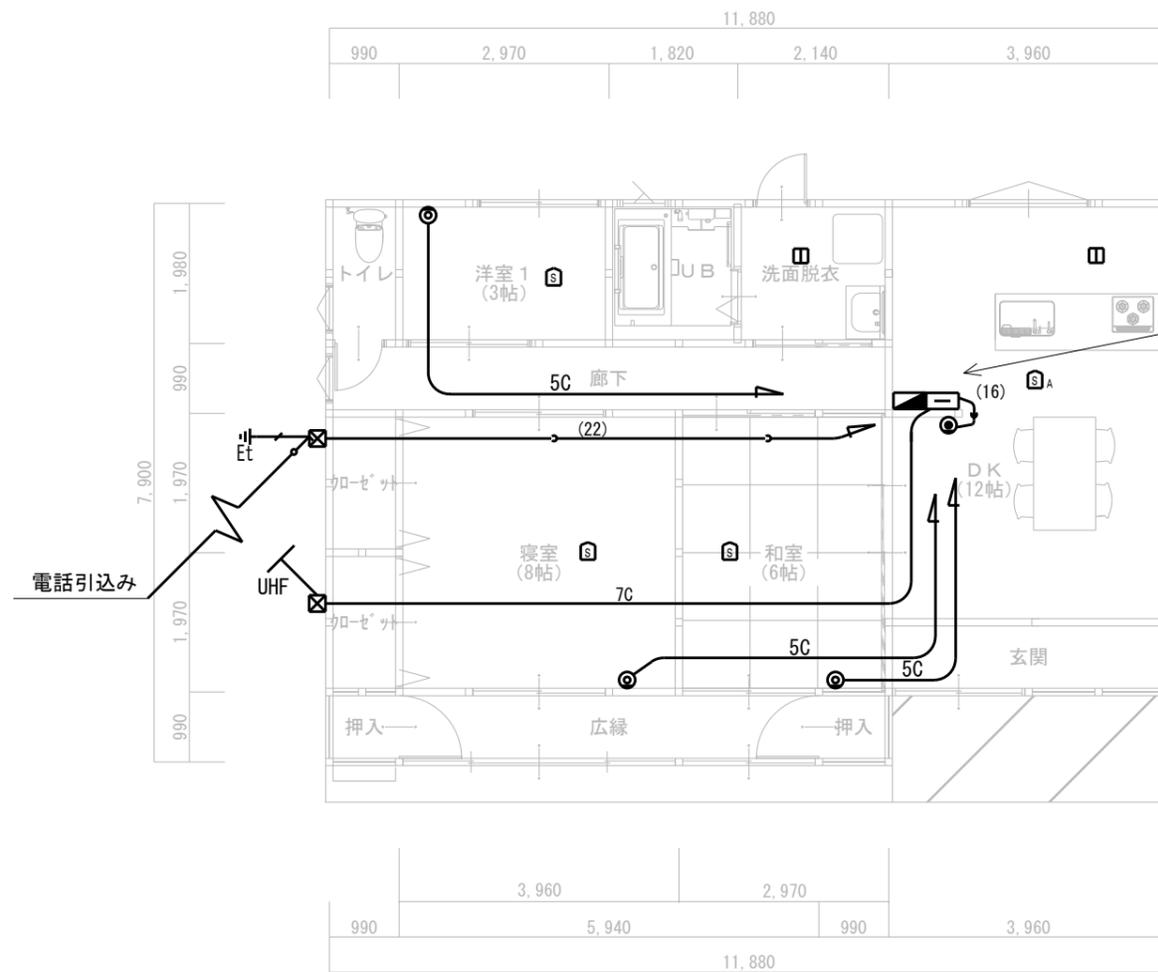
インターホン配管配線  
 EM-AE0.9-2C 天井内 配線

EM-EEF2.0-3C [1E] 天井内 配線

図中表示なき壁内配線はPF管にて保護する

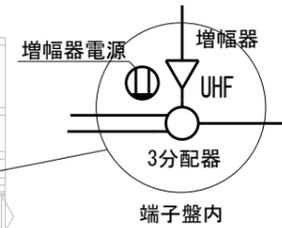
改修後平面図 S:1/100

記 事	工事名	令和7年度琴平町中間管理住宅改修工事	図番	04/E	日付	
	図面名	コンセント設備平面図	縮尺	S=1/100	製図	
	設計者	SAIGA ARCHITECTURAL DESIGN	初案登録第	229号	検	
	施工者	有限会社 齋賀建築設計事務所	管理建築士1級第	271186号	検	
				三野 和司	図	

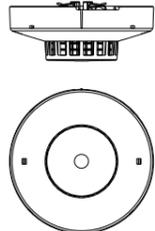
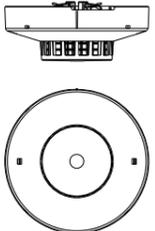
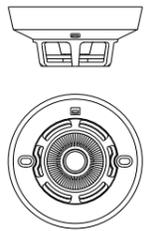


※ 記入なき配線配管は 下記による。

テレビ共聴回路		
5C	EM-S-5C-FB	天井内 配線
5C	EM-S-5C-FB (PF16)	壁内配管配線
7C	EM-S-7C-FB	天井内 配線
7C	EM-S-7C-FB (PF22)	壁内配管配線
電話・情報用配管		
(16)	(PF16)	天井内 配管
(22)	(PF22)	天井内 配管
図中表示なき壁内配線はPF管にて保護する		



改修後平面図 S:1/100

S <sub>A</sub>	特定小規模施設用自動火災報知器 (光電式スポット)	S	特定小規模施設用自動火災報知器 (光電式スポット)	□	特定小規模施設用自動火災報知器 (定温式スポット)
	親機 リチウム電池 ワイヤレス運動型 自動点検機能付		子機 リチウム電池 ワイヤレス運動型 自動点検機能付		子機 リチウム電池 ワイヤレス運動型 自動点検機能付
					

記  
事

工事名	令和7年度琴平町中間管理住宅改修工事	図番	05/E	日付	
図面名	弱电設備平面図	縮尺	S=1/100	製図	
SAIGA ARCHITECTURAL DESIGN		知事登録第229号 管理建築士1級第271186号		三野 和司	
有限会社 齋賀建築設計事務所					

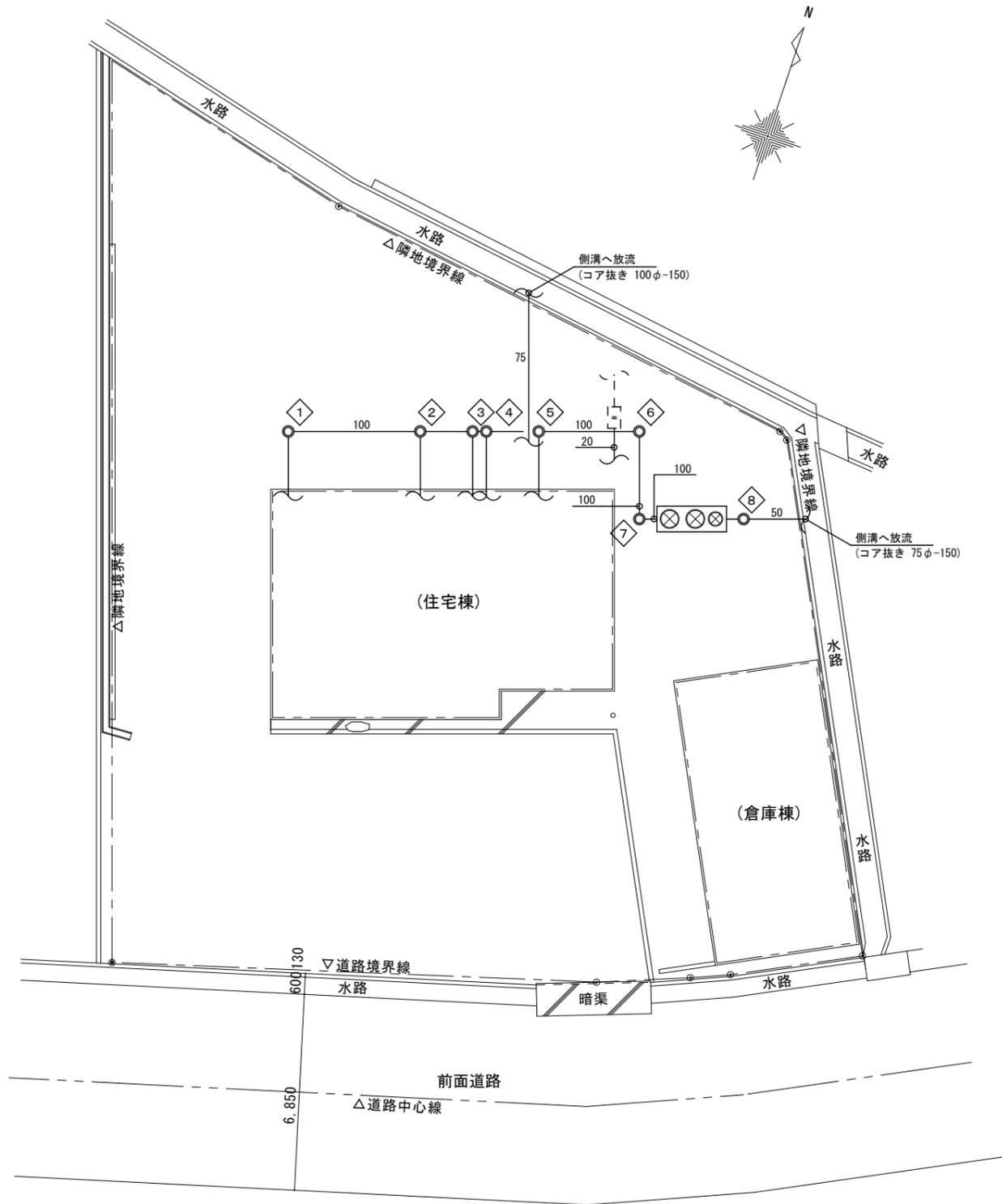
機械設備工事特記仕様書	
○を付けたものを摘要する。(但し○印のないものは、*を摘要する。)	
1 設計概要	
工事名称	令和7年度琴平町中間管理住宅改修工事
工事場所	香川県仲多度郡琴平町地内
建物概要	構造 ・ <b>W</b> ・ S ・ RC ・ その他 ( )
	階数 地上 1階 地下 階
	延床面積
	防火基準 ・ 耐火 ・ 準耐火 ・ その他 ( )
建築申請	・ 確認申請 ・ 大規模建物事前協議 ・ 開発申請 ・ 防災計画
	・ ビル管法 ・ 省エネ法 ・ 水質汚濁防止規制 ( )
2 一般事項	
概要基準	本工事の請負者は、電機設備技術基準、建築基準法、消防法、冷凍保安規則、冷凍保安関係例示基準、冷凍空調装置の施設基準等関係諸規則及び設計図書により施工しなければならない。
標準仕様書	・ 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和4年版) ・ 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(令和4年版) ・ 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和4年版) ・ 建築設備工事共通仕様書(日本建築協会編)(最新版)
優先順位	1現場説明書 2本特記仕様書 3設計図書 4標準仕様書
諸手続	本工事に関する諸官庁、関係会社への申請・協議書類の作成は、本工事を含むものとし、遅滞なく履行する。尚、これに要する費用は、請負者の負担とする。
施工図面	工事着工前に施工詳細図を作成し、監理者の承諾を得た後着工する。
使用材料	本工事に使用する諸材料・製作品は、諸取締規則、JIS規格等に合格した品質優良な新品とし、見本品又は製作詳細図を監理者に提出し承諾を得た後正式発注又は製作に着手する。
製品検査	監理者の指定する器材は、現場搬入前検査を原則とする。
別途工事協力協議	別途工事については、協議・協力し、円滑な工事進捗を促す。
工事写真	監理者の指示に従い必要箇所の工事写真を撮影し、監理者に提出する。
軽微な変更	工事完了上必要とする軽微な変更は、監理者と協議し、工事請負金額の範囲で無償にてこれを施工する。
完成検査	検査手順 請負者社内検査 所轄官公署検査 完成検査
	提出書類 官公署許可証 検査証 竣功図 試験データ
	名札付キー 取扱説明書
工事補償	工事の瑕疵期間は、引渡後 年間とする。

3 工事内容	
A 衛生設備工事	
衛生器具設備	
・ 衛生器具、金具	○ JISマーク表示品 ・ 製造者規格品 ※ 機器仕様表による
給水設備	
・ 水源の種類	○ 公共水道 ・ 井戸水
・ 給水方式	○ 公共水道直結 ・ 受水槽/高架水槽 ・ 受水槽/加圧給水装置
・ 給水引込	○ 引込口径 20 m/m ・ 量水器口径 m/m
・ 水道負担金	・ 別途工事 ・ 本工事
排水通気設備	
・ 排水方式	・ 汚水、雑排水 屋内 ○ 分流水 ・ 合流式 屋外 ・ 分流水 ○ 合流式 ・ 雨水 ○ 別途建築工事 ・ 最終棟にて汚水と合流 ・ 本工事
・ 放流先	・ 汚水 ・ 公共下水道 ○ 浄化槽(○ 側溝 ・ 河川 ・ 水路) ・ 雑排水 ・ 公共下水道 ○ 浄化槽(○ 側溝 ・ 河川 ・ 水路) ・ 雨水 ・ 公共下水道 ○ 側溝 ・ 河川 ・ 水路
・ 排水槽	・ 汚水槽 ・ 雑排水槽 ・ 湧水槽 ・ 雨水槽
給湯設備	
・ 給湯方式	局所式 ( ・ 都市ガス ・ LPG ・ 電気 ・ 瞬間式 ○ 貯湯式 ) 中央式 (1) 燃料 ・ 都市ガス ・ LPG ・ 灯油 ・ 電気 ・ その他 (2) 熱源機 ・ 真空温水器 ・ 鋼板ボイラ ・ セクショナルボイラ ・ 煙管ボイラ ・ 貫流ボイラ ・ 空調熱源と併用 ( ・ 空調工事 ・ 給湯工事 )
消火設備	
・ 消火設備の種類	・ 屋内消火栓 ( ・ 1号 ・ 2号 ) ・ スプリンクラー ・ 二酸化炭素消火 ( ・ 固定式 ・ 移動式 ) ・ 泡消火 ( ・ 固定式 ・ 移動式 ) ・ 粉末消火 ( ・ 固定式 ・ 移動式 ) ・ 連結送水管 ・ 連結散水 ・ 屋外消火栓 ・ フード等用簡易自動消火装置 ・ 消火器 ( ・ 別途 ・ 本工事 )
ガス設備	
・ ガスの種類	・ 都市ガス ( ・ 中圧 ・ 高圧 ) ・ LPG
・ ガス配管施工	・ ガス会社責任施工 ・ ネジ工法 ・ SGM工法 ・ 溶接工法
・ ガス漏れ警報器	・ なし ・ あり ( ・ 本工事 ・ 別途電気工事 ) ・ 厨房設置 ・ 乾電池式
・ 緊急遮断弁	・ なし ・ あり ( ・ 本工事 ・ 別途電気工事 )
浄化槽設備	
・ 工事区分	○ 本工事 ・ 別途工事
・ 人槽、放流水質	・ JIS00人槽 ※BOD ( ・ 60PPM ・ 30PPM ・ 20PPM )
・ 処理方式	・ 合併処理 ( ・ 方式 )
・ 構造	○ FRP製 ・ 鉄筋コンクリート製 ※ 鋼鉄蓋 安全荷重 ( ・ 1.5t ○ 0.5t ) ・ マンホール蓋はボルトロック式とする。
・ 排水方式	・ 自然放流 ○ ポンプ排水
B 空調設備工事	
熱源機器設備	
・ 燃料	・ 都市ガス ・ 電気 ・ 灯油 ・ 軽油
・ 種類	・ 直焚吸収式冷水機 ・ スクリュー冷水機 ・ レシプロチラー ( ・ 空冷 ・ 水冷 ・ ヒートポンプ ・ 冷房専用 ) ・ 真空温水器 ・ 鋼板 ・ セクショナル ・ 煙管ボイラ ・ 貫流ボイラ ・ 給湯熱源と併用 ( ・ 空調工事 ・ 給湯工事 )
・ 補機	・ 冷却塔 ( ・ 開放型 ・ 密閉型 ) 一式
・ 防振装置	・ 製造者標準 ・ スプリングユニット型
・ 貯油槽	・ タンク型型 ・ スラプ型 ・ 遠隔指示油量計 ・ 躯体 ( ・ 本工事 ・ 別途建築工事 )
・ 煙道	・ 鋼板 ・ SUS鋼板
空調機器設備	
・ 空調機器	・ エアハンドリングユニット ・ ファンコイルユニット ・ パッケージ型空調機 ( ・ 空冷 ・ ヒートポンプ ・ 冷房専用 ) ・ ルームエアコン ( ・ ヒートポンプ ・ 冷房専用 )
・ 防振装置	・ 製造者標準 ・ スプリングユニット型
・ ドレトラップ	・ FRP製 (床置型)

配管設備	
・ 配管種類	・ 冷水水 ・ 冷水 ○ 温水 ・ 冷却水 ・ ドレン ○ 給水 ○ 冷媒 ・ 膨張 ・ 蒸気 ( ・ 低圧 ・ 高圧 ) ・ 油 ・ 熱源水 ・ 温度計 ( ・ 熱源機器、空調機、ヘッダーの出入口 ) ・ 圧力計 ( ・ 熱源機器、空調機、ヘッダーの出入口 ) ・ 瞬間流量計 ( ・ 熱源機器 ・ 空調機 ・ ポンプの出口 ・ ヘッダー ・ 測定口のみ )
・ 計量器	・ 機械室 ・ 全系統
・ 防振支持施工	・ 機械室 ・ 全系統
ダクト設備	
・ ダクトの種類	・ 低速ダクト ・ 高速ダクト
・ ダクトの材質	・ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ ビニル鋼板 ・ ビニル板 ・ グラスウール ・ スパイラルダクト ・ ビニル管 ・ アルミ製 ・ 鋼板製
・ 吹出口、吸込口	・ 遠方復帰型 ・ 手動復帰型
・ 煙感連動ダンパ	・ 800以上のチャンパーに取付
・ 点検口	・ 空調機・送風機出入口 ( O.A.EAを含む ) に取付
・ 風量測定口	・ 温度計 ( S.A.RA.OA.のダクト )
・ 計量器	・ 機械室 ・ 全系統
・ 防振支持施工	・ 機械室 ・ 全系統
・ ダクトの保温	リターンダクト ・ 不要 ・ 要 ( 保温厚さ ・ 25mm ・ 50mm )
換気設備	
・ 換気機器種別	・ 給排気ファン ・ 全熱交換器 ・ 顕熱交換器 ○ 換気扇 ・ 天井扇 ・ ルーフファン ・ 製造者標準 ・ スプリングユニット型
・ 防振装置	・ 低速ダクト ・ 高速ダクト
・ ダクトの種類	・ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ ビニル鋼板 ・ ビニル板 ・ グラスウール
・ ダクトの材質	○ スパイラルダクト ・ ビニル管 ・ アルミ製 ・ 鋼板製
・ 吹出口、吸込口	・ ステンレス製 ・ 鋼板製 ・ 一重 ・ 二重
・ フード	・ 逆火防止型
・ グリスフィルタ	・ 遠方復帰型 ・ 手動復帰型
・ 煙感連動ダンパ	・ 800以上のチャンパーに取付
・ 点検口	・ 空調機・送風機出入口 ( O.A.EAを含む ) に取付
・ 風量測定口	・ 機械室 ・ 全系統
・ 防振支持施工	・ 機械室 ・ 全系統
排煙設備	
・ 排煙機	(財)日本建築センターの評定を受けたものとする。 ・ 遠心型 ・ 軸流型 ・ 高速ダクト ・ パネル式 ・ ダンパー式 ・ 手動復帰型 ・ 全系統 ・ 要 ( 保温厚さ ・ 25mm ・ 50mm )
・ ダクトの種類	・ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ ビニル鋼板 ・ ビニル板 ・ グラスウール
・ 排煙口	・ 手動復帰型 ・ 全系統 ・ 要 ( 保温厚さ ・ 25mm ・ 50mm )
・ 排煙ダンパー	・ 手動復帰型 ・ 全系統 ・ 要 ( 保温厚さ ・ 25mm ・ 50mm )
中央制御設備	
・ 中央監視設備	・ 本工事 ・ 別途電気工事
・ 自動制御方式	・ 電子式 ・ 電気式 ・ 空気式
4 共通摘要項目	
・ 耐震施工	耐震施工は、建築設備耐震設計・施工指針(独立行政法人建築研究所監修) 2014年度版による。 建築基準法第36条、建築基準法施工令第129条の2の5及び告示第1422号による。 国土交通大臣認定工法を採用の場合は、工法表示ラベルを貼付すること。 消防庁通知消防予第53号、総務省令第40号、消防庁告示第2号、第4号による。
・ 防火区画処理	機器及び機器基礎類の図示寸法は、参考寸法とする。 耐塩、重耐塩地域はHD255、その他はHD235を原則とする。 なお、機器についてはメーカー仕様とする。 吊ボルト長さが1m以上の機器には振れ止めを取付けるものとする。
・ 寸法	コンクリートスラブ・壁等の貫通部穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。
・ 溶融亜鉛メッキの表面処理	※ 発生材の処理は、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設廃棄物処理指針(平成22年度版)、その他関係法令によるほか、建設副産物適正処理推進要綱(平成5年1月12日建設省経連発第3号、最終改正平成14年5月30日)に従い適切に処理し監督職員に報告する。
・ 振れ止め措置	「国等による環境物品等の調達に関する法律」(平成12年法律第100号)以下、「グリーン購入法」という。)に基づく特定調達品目の判断基準は、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(平成30年2月9日変更閣議決定)」による。
・ はつり工事	
○ 発生材処理	
○ 環境配慮	

5 メーカーリスト			
分類	製造業者名	製造業者名	備考
銅管、継手類	鋼管		JIS規格品
	ライニング鋼管	積水化学	JWWA規格品
	ステンレス鋼管		JIS規格品
	タールエポ樹脂鋼管		JIS規格品
	ポリエチレン管		
硬質塩ビ管	積水化学		JIS規格品
	鋼管		JIS規格品
			JWWA規格品
鉛管		HASS規格品	
ポリブテン管	ブリジストン		
保温材			JIS規格品
弁類	仕切弁、逆止弁等		JIS規格品
衛生器具類	衛生陶器、附属金物	TOTO LIXIL	
	水栓類	TOTO LIXIL	
排水金具	排水金物	ダイドレ ホーコス 積水化学	
マンホール蓋等	ダイドレ		
水槽類	ステンレス製	ベルテクノ 森松工業 三菱樹脂	
	FRP製	積水化学 三菱樹脂 日立化成工業	
	スチール製	NYK西日本 森松工業 ベルテクノ	
ガス給湯機	リンナイ ノーリツ		
	パロマ パーパス		
電気温水器	貯湯式	四変テック 三菱電機 ダイキン	
	ヒートポンプ式	ダイキン パナソニック 日本キャリア 三菱電機 日立GLS	
ガス器材	四国ガス 藤井合金		
ポンプ類	川本製作所 荏原製作所		
	テラル 日立産機		
ボイラ類	巴商会 昭和鉄工 サムソン		
	日本サーモエナー 三浦工業		
冷凍機	川重冷熱 荏原冷熱 日本キャリア 日立GLS		
冷却塔	三菱電機 パナソニック ダイキン		
	空研工業 ダイキン 日本キャリア 荏原冷熱 日立GLS 三菱樹脂		
空調機	パッケージ型空調機	ダイキン パナソニック 日本キャリア 三菱電機 日立GLS	
	ファンコイルユニット	ダイキン パナソニック 日本キャリア 三菱電機 日立GLS	
	GHPエアコン	ヤンマー ダイキン パナソニック	
空調制御機器	アズビル パナソニック 三菱電機		
送風機	テラル 荏原製作所		
換気扇	三菱電機仕様 日立産機 ダイキン 日本キャリア パナソニック		
全熱交換器	三菱電機仕様 日立GLS ダイキン 日本キャリア パナソニック		
吹出口、吸込口	空研工業		
消火器材	立売器製作所 横井製作所 ホーテキ ニッタン 日本ドライケミカル		
床暖房機器	パナソニック ダイキン 三菱電機 パーパス 古河電気工業		
浴室設備機器	トサトヨー 巴商会 三浦工業 鶴亀温水器 ミウラ化学装置 ノーリツ リンナイ サムソン		
厨房機器	四国厨房 三浦工業 サムソン トサトヨー		
製缶・フード類 架台類	四国溶接 ベルテクノ ホーコス 森松工業 未来工業 ミウラ化学装置		
計測機器	量水器、ガスメーター	愛知時計電機 アズビル金門	
	オイル管理用	昭和機器	
液面計		昭和機器	
ホールタップ		TOTO	
グリーストラップ		ダイドレ ホーコス	
合併処理浄化槽		ダイキ アムス フジクリーン	
薬注装置		ミウラ化学装置 三浦工業 サムソン	
※メーカーリストは原則として上記によるが、他のメーカー採用は、係員との協議による。			

記 事	工事名	令和7年度琴平町中間管理住宅改修工事	図番	01/M	日付	
	図面名	機械設備特記仕様書		縮尺	NON	製図
		有限会社 齋賀建築設計事務所		知事登録第229号 管理建築士1級第271186号	三野	和司



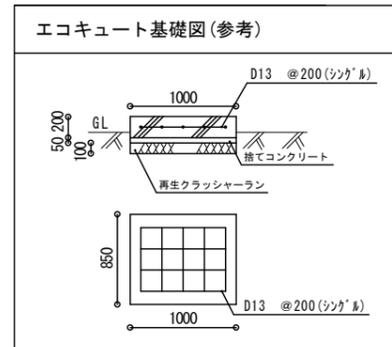
機器表

機器番号	機器名称	仕様及び性能	消費電力		台数	設置場所	備考
			φ-V	KW			
EH-1	エコキュート	型式：貯湯ユニット 460L(追い炊き機能付)	1-200	2.00	1	屋外	(参) SRT-V467
		付属品：台所・浴室リモコン、リモコンケーブル(20m)					コンクリート基礎共
		脚部カバー、ヒートポンプ配管セット、GV、CV					(1000×850×200H)
		その他標準付属品					架台ブロック共
J-1	合併浄化槽	型式：横向流爽雑物除去接触床循環式	1-100	0.035	1	屋外	(参) XJ-5
		5人槽、放流ポンプアップ槽付、T=0 (7'0)					(1)
		(6'7)					(2)

衛生器具表

名称	仕様	参考品番	数量	備考
洋風大便器	壁給水、床排水、L T式、手洗いあり、温水洗浄便座(318w) 紙巻器(樹脂製)、タオルリング、その他付属品	CS232B, SH2338A, TCF6623 YH52R, YT410	1	
洗面化粧台	間口:750mm、エコシングル混合水栓、一面鏡、LEDランプ、エコミラー	LDBA075BAGMS1A, LMBA075B1GDC1G	1	
洗濯機パン	縦引トラップ共	PWP800NZ, PJ2009NW	1	
洗濯機用横水栓		TW11R	1	
シングル混合水栓	台付、吐水切替えタイプ	TKS05304J	1	
散水栓	樹脂製、埋設	T28UNH13	2	

注記：UBは建築工事とし、各種配管及びダクト接続までを設備工事とする。



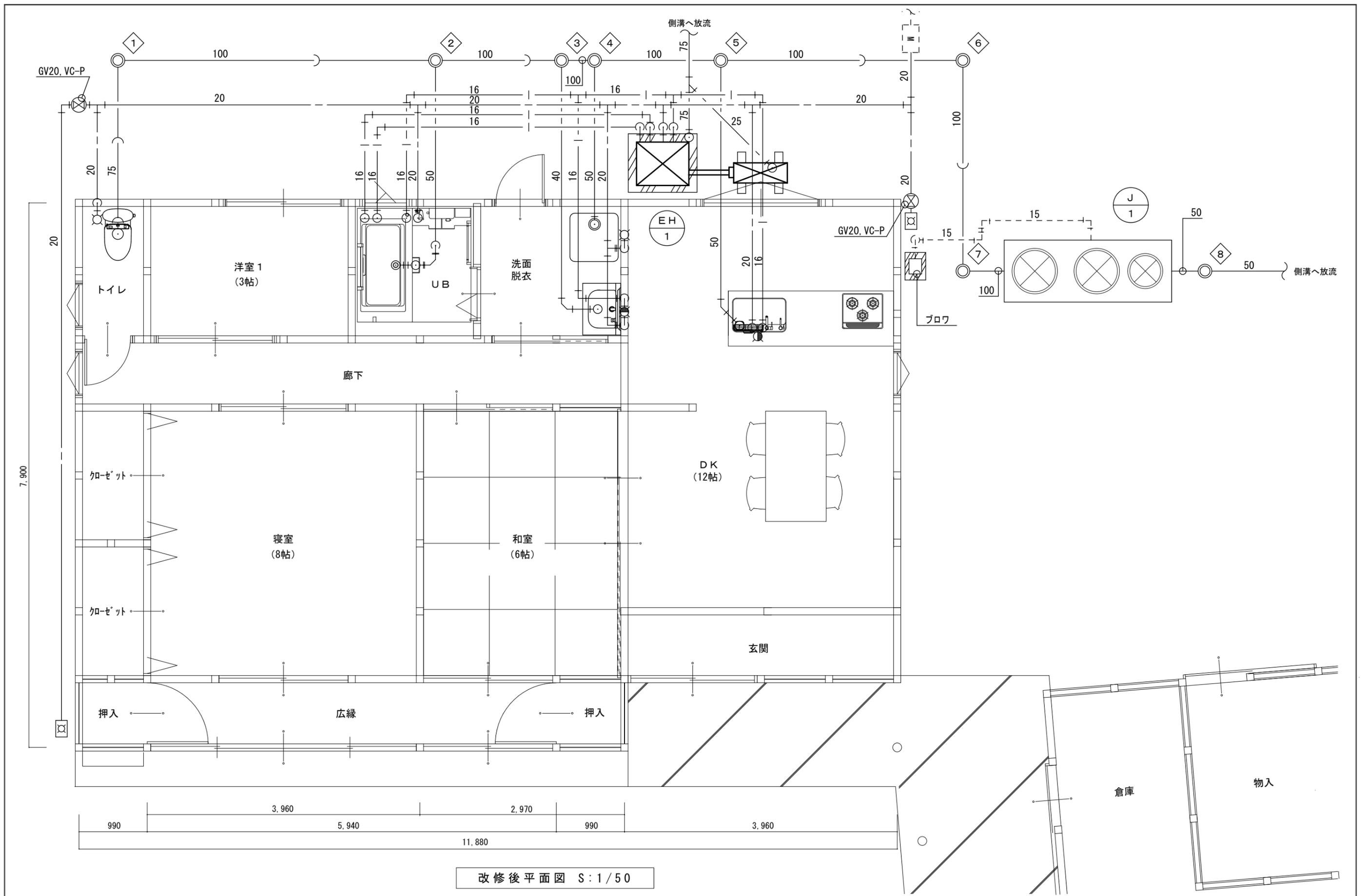
配管凡例			
———	給水管	耐衝撃性塩化ビニル管	(HIVP)
—— ——	給湯管	架橋ポリエチレン管(被覆付)	(PE)
——>——	汚水管	排水用硬質塩ビ管	(VP)
———	排水管	排水用硬質塩ビ管	(VP)
----	通気管	排水用硬質塩ビ管	(VP)
⊠	散水栓	樹脂製	
⊗	埋設バルブ		
⊙	給水栓		
⊕	混合水栓		

注記：給水・給湯配管の屋外露出部分はSUSラッキング仕上げとする。

新設樹表

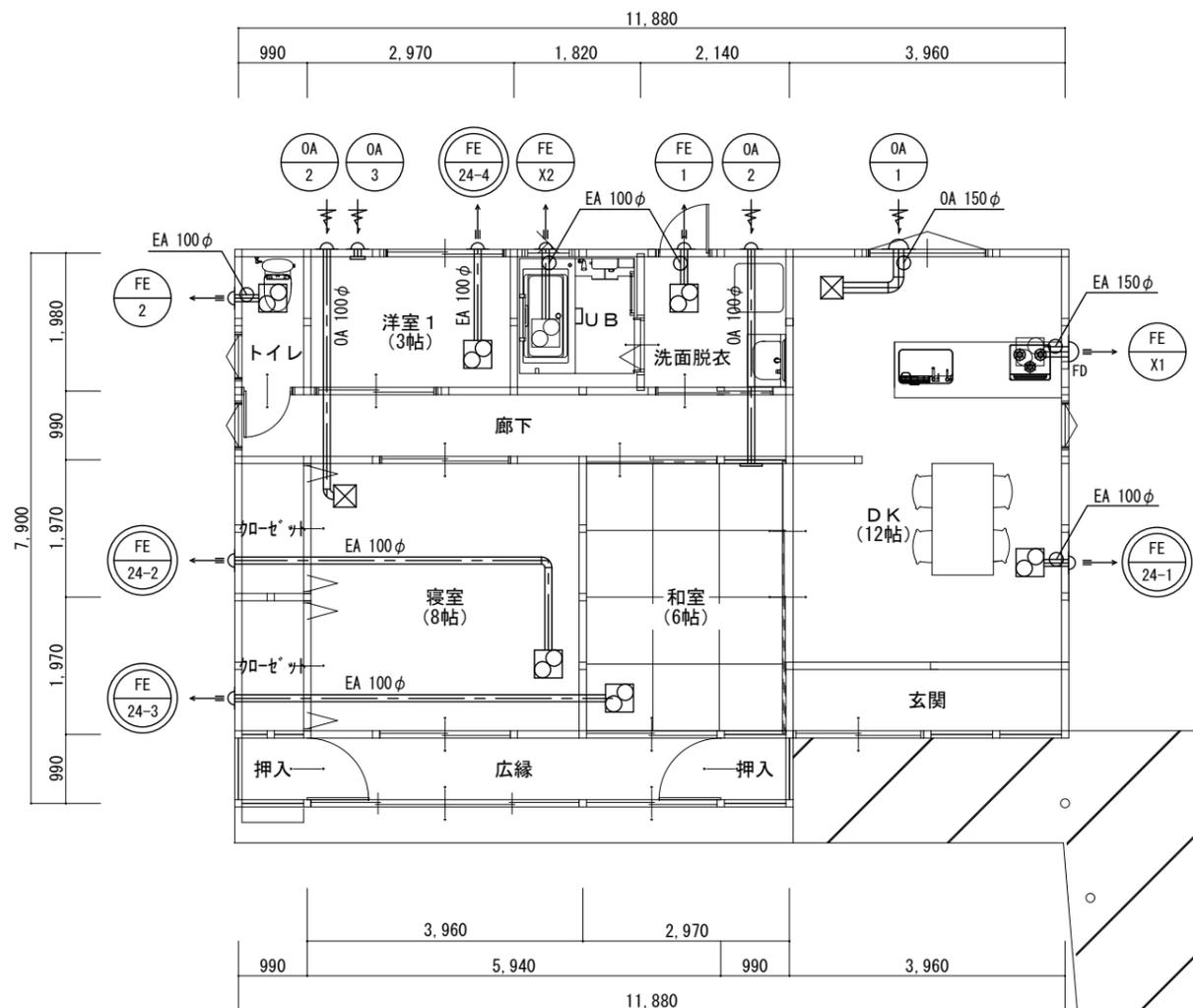
記号	樹名称	樹寸法	管底(H)	樹規格	MH規格	備考
①	小口径樹	100-200	-525	90L	樹脂蓋	
②	小口径樹	100-200	-570	90Y	樹脂蓋	
③	小口径樹	100-200	-587	90Y	樹脂蓋	
④	小口径樹	100-200	-590	90Y	樹脂蓋	
⑤	小口径樹	100-200	-607	90Y	樹脂蓋	
⑥	小口径樹	100-200	-642	90L	樹脂蓋	
⑦	小口径樹	100-200	-672	90L	樹脂蓋	
	浄化槽入		-680			
	浄化槽出		-550			
⑧	小口径樹	100-200	-555	ST	樹脂蓋	

注記：管底(H)及び地盤高は参考値とする。



改修後平面図 S:1/50

記	工事名	令和7年度琴平町中間管理住宅改修工事	図番	03/M	日付	
	図面名	給排水衛生設備 改修後平面図	縮尺	1/50	製図	
事	SAIGA ARCHITECTURAL DESIGN		初案登録第228号		管理建築士1級第271186号	
	有限会社 齋賀建築設計事務所		三野 和司		製図	



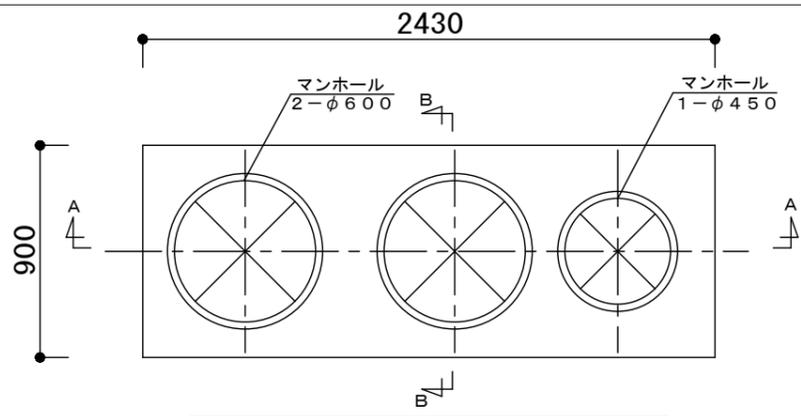
改修後平面図 S:1/100

機器表

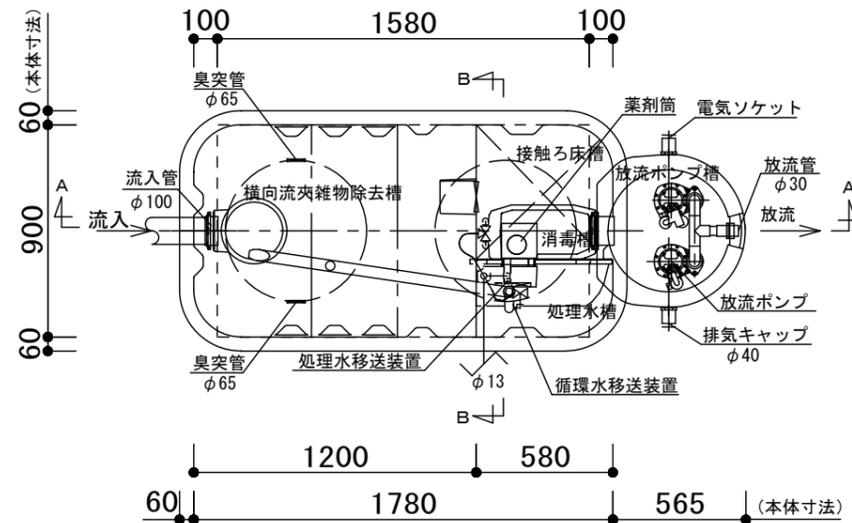
機器番号	機器名称	機器仕様			消費電力	台数	設置場所	備考
		風量 (m <sup>3</sup> /h)	機外静圧 (Pa)	ダクト径 (φ)				
FE24-1	ダクト用換気扇	100	30	100	1-200	14	1	玄関
	(24H換気)	60	15	VG深型フード(SUS製、防虫網付)				
FE24-2	ダクト用換気扇	50	12	100	1-200	14	1	寝室
	(24H換気)	20	14	VG深型フード(SUS製、防虫網付)				
FE24-3	ダクト用換気扇	50	11	100	1-200	14	1	和室
	(24H換気)	30	14	VG深型フード(SUS製、防虫網付)				
FE24-4	ダクト用換気扇	30	5	100	1-200	14	1	洋室1
	(24H換気)	10	13	VG深型フード(SUS製、防虫網付)				
FE-1	ダクト用換気扇	70	15	100	1-200	15.5	1	洗面脱衣
FE-2	ダクト用換気扇	30	5	100	1-200	4.9	1	トイレ
FE-X1	台所用換気扇			150			(1)	DK (建築工事)
FE-X2	UB用換気扇			100			(1)	UB (建築工事)
OA-1	給気口(フィルター付)			150			1	DK
OA-2	給気口(フィルター付)			100			2	和室(壁)、寝室(天井)
OA-3	自然給気ユニット (フィルター付)			100			1	洋室1(壁)

注記・電気容量は参考値とし、試運転調整を含む。  
 ・24Hコントロールスイッチは、電気設備に支給とする。  
 ・OAダクトは防露施工(GW25mm)とし、火気使用ダクトは防露施工(RW50mm)とする。  
 ・防火ダンパーの温度ヒューズ及びダンパーは、建設省告示2565合に基づき特定防火設備(交渉作動温度72℃)該当品とする。

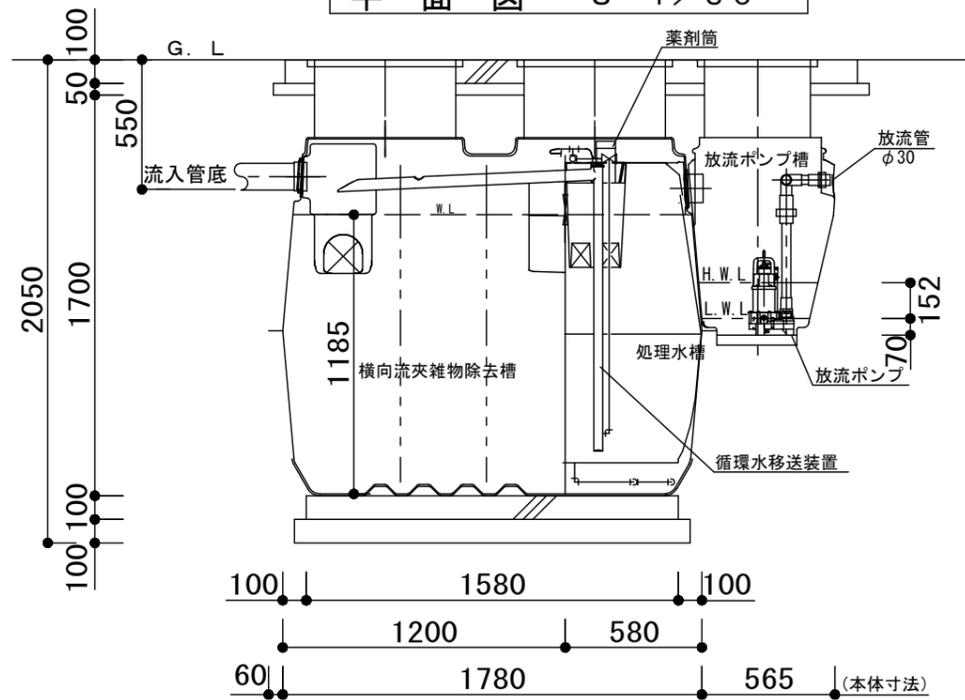
凡 例		
	給気ダクト	亜鉛鉄板スパイラルダクト(0.5t)
	排気ダクト	亜鉛鉄板スパイラルダクト(0.5t)
	換気扇	
	給気口	
	ベントキャップ	深型フード(SUS製、FD付、防虫網付)
	ベントキャップ	深型フード(SUS製、防虫網付)
		24時間換気ファンを示す



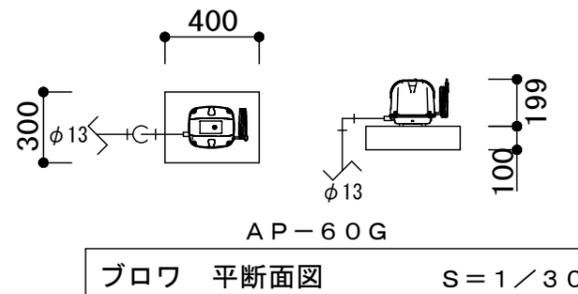
頂版開口図 S=1/30 主筋方向



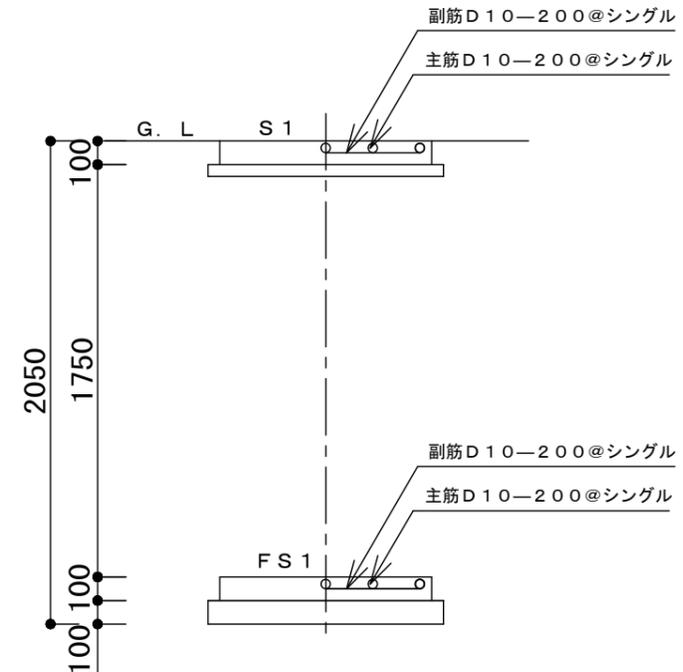
平面図 S=1/30



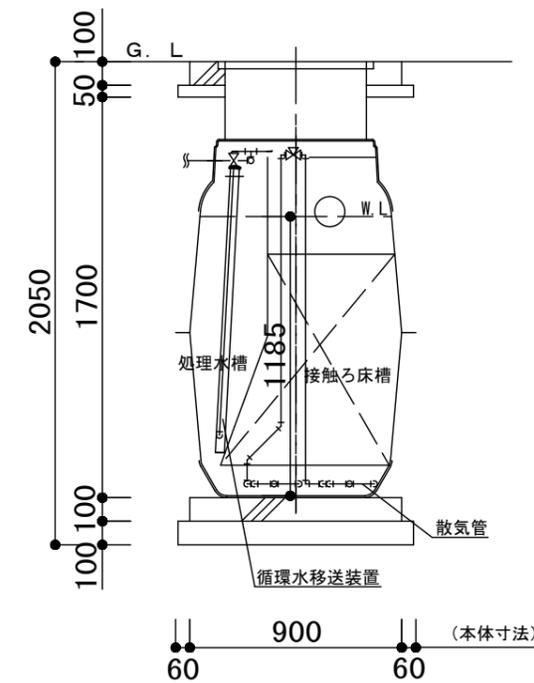
A-A断面図 S=1/30



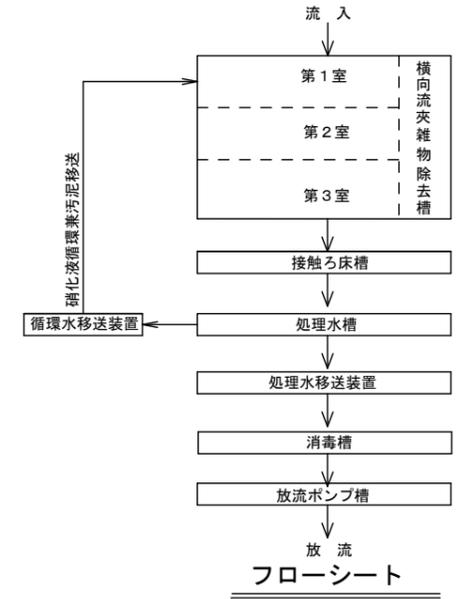
ブロワ 平断面図 S=1/30



B-B断面配筋図 S=1/30



B-B断面図 S=1/30



フローシート

ダイキアキス浄化槽	
型式	XJ-5
型式認定番号	8-24-H-001
仕 様 表	
分類	合併処理
処理計画人員	5 人
処理計画汚水量	1.0 m <sup>3</sup> /日
流入水質	BOD 200mg/L
	COD 100mg/L
	SS 160mg/L
	T-N 45mg/L
放流水質	BOD 20mg/L
	COD 30mg/L
	SS 20mg/L
	T-N 20mg/L
処理方式	横一流夾雑物除去接触ろ床循環方式
有効容量 (m <sup>3</sup> )	
横一流夾雑物除去槽	1.074
接触ろ床槽	0.373
処理水槽	0.141
消毒槽	0.015
放流ポンプ槽	0.040
電気機器仕様	
ブロワ	100V-単相-35W 1台
放流ポンプ	100V-単相-130W 2台

注記  
 スラブ荷重は、T-0とする。  
 コンクリート強度：F<sub>c</sub>=21N/mm<sup>2</sup>とする。  
 開口部補強筋を設けること。  
 開口部補強筋の定着長さは、L=40dとする。  
 マンホールは、FRP製とする。  
 臭突工事は、処理槽工事外とする。  
 臭突横引き配管は、上り勾配施工とする。  
 流入・放流配管は、処理槽工事外とする。  
 処理槽流入部付近に給水栓を設けること。但し、処理槽工事外とする。  
 臭突管の工事ができない場所は、放流ポンプ槽から放流先に空気逃がし配管を行って下さい。  
 本図は、嵩上げ材H=300mmを設置した図面となります。